

この冊子は静脈血栓塞栓症の患者さん用です。
※本資材は、体重30kg以上のお子さまを対象としています。

リバーロキサバンOD錠「日医工」を
服用される

じょう みゃく けっ せん そく せん しょう

静脈血栓塞栓症

のお子さまとご家族へ



もくじ

■ じょうみやくけっせんそくせんしやう 静脈血栓塞栓症とは	1
■ リバーロキサバンとは	2
■ 飲み忘れにご注意ください	4
■ 特に注意してほしい副作用	6
しゅっけつ 出血	6
かんきのうしやうがい おうだん 肝機能障害・黄疸	10
きやうせいじんしやうがい 急性腎障害	10
かんしつせいはいしっかん 間質性肺疾患	11
■ 服用中の注意点	12
■ お薬カレンダー	14
■ 患者さんカード	17

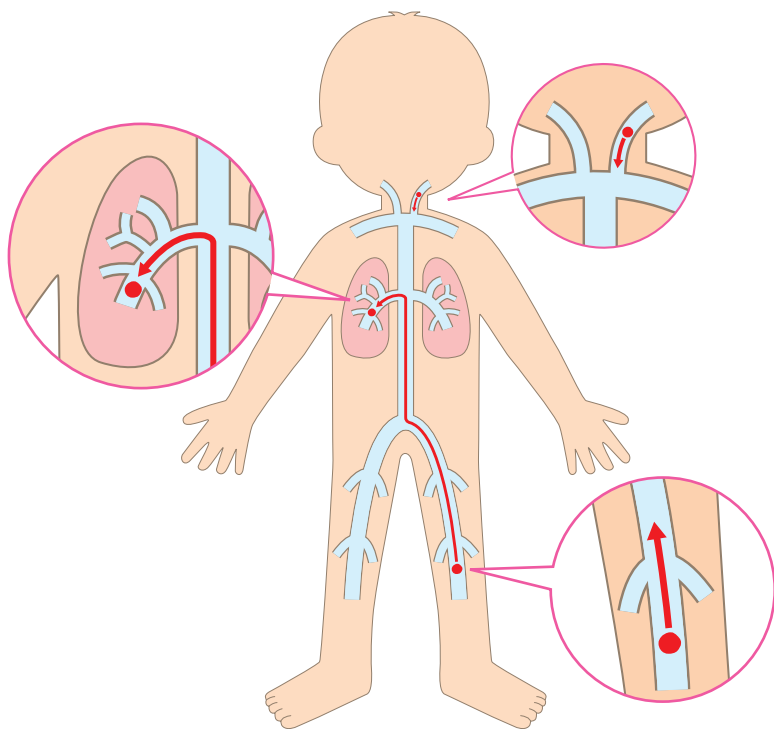


じょうみやくけつ せん そく せん しょう

静脈血栓塞栓症とは

じょうみやくけつせんそくせんしょう

静脈血栓塞栓症は、足やうで、頭や肺などの静脈に、血のかたまり(血栓^{けっせん})ができて、血流がとどこおってしまう病気です。



リバーロキサバンとは

血液を固まりにくくするお薬です

■血をかたまりにくくし、けっせん血栓ができるのを防ぐ抗凝固薬こうぎょうこやくというお薬です。

■服用前に

以下の項目に該当する方は、医療スタッフ（医師、看護師、薬剤師）にお知らせください。

- ☐ 以前にお薬を服用してかゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことのある方
- ☐ 出血している方
- ☐ 肝臓が悪い方
- ☐ 妊娠または妊娠している可能性のある方
- ☐ 他のお薬を服用している方
- ☐ きゅうせいさいきんせいしんないまくえん急性細菌性心内膜炎の方
- ☐ 腎臓の悪い方

■飲み方について

- **1日1回、食後**に服用（体重30kg以上）

水なしでも服用することができます。舌の上でだ液を含ませて軽くつぶしてから、だ液と一緒に飲み込んでください。ただし、**水なしの場合には寝たままでも服用しないでください。**

- 主治医の判断により、リバーロキサバンOD錠10mgや同じ成分の他の剤形（ドライシロップなど）のお薬を服用することもあります。1回の服用量と1日の服用回数は主治医の指示に従ってください。

リバーロキサバン「日医工」には以下の剤形があります

製品名	特徴	製品写真	対象
リバーロキサバン OD錠15mg、10mg 「日医工」	口の中ですぐに 溶けて飲み込み やすい錠剤		体重 30kg～

- 必ず、主治医の指示に従って服用してください。
- ご自分の判断で勝手に飲むのを止めたり、お薬の量や飲む回数を変更しないでください。出血したり、血管が詰まってしまうおそれがあります。

毎日、なるべく
同じ時刻に服用



飲み忘れにご注意ください

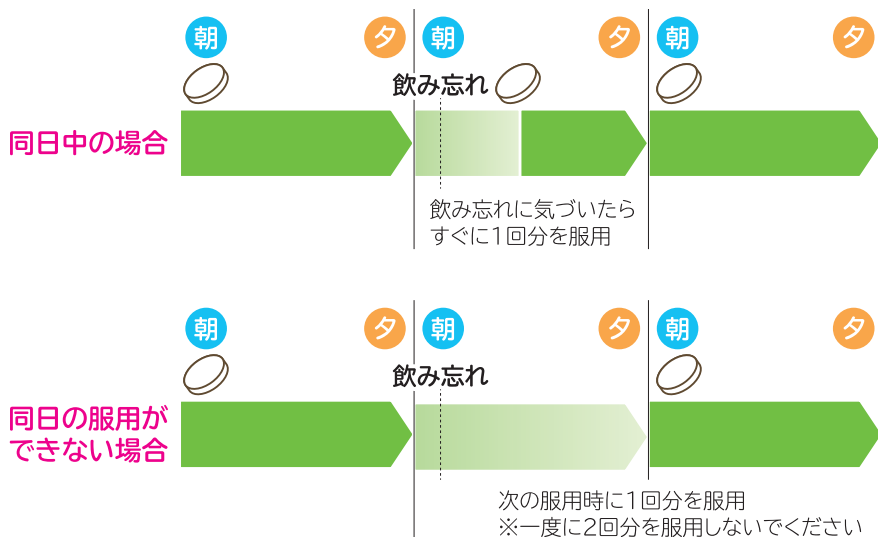
飲み忘れに気づいたときは、次のように対応してください

■同日中の場合

飲み忘れに気づいたら、すぐに1回分を服用
次の服用まで12時間以上空ける

■同日の服用ができない場合

次の服用時に1回分を服用
※一度に2回分を服用しないでください



吐き出したり、嘔吐したりして、飲めなかったときは、次のように対応してください

服用から吐き出したり嘔吐したりするまでの時間によって、以下のように対応してください。

■服用から30分以内の場合



1回分をもう一度服用してください。
ただし吐き気や嘔吐の症状を繰り返す場合は、
すぐに主治医に連絡してください。

■服用から30分以上経過している場合



もう一度服用したりしないで、次回の服用時に
1回分を服用してください。

指示されたとおり服用できないことが何度か続いたり、
吐き出しや嘔吐を繰り返したりする場合は、主治医に相談
してください。

飲み忘れを防ぐために、記録するようにしましょう。

服用したら「お薬カレンダー」(14ページ～)に記入しましょう。



特に注意してほしい副作用

しゅっけつ 出血

よく見られる出血

鼻や歯ぐきからの出血、皮下出血（あおあざ）、月経過多が起こることがあります。ときに重大な出血が起こるおそれもありますので、服用中は十分に注意してください。

はなぢ
鼻血



は
歯ぐきからの
しゅっけつ
出血



ひかしゅっけつ
皮下出血
(あおあざが
できやすい)



げっけいかた
月経過多*
(出血量が増える
ことがある)
* 女兒の場合



これらの症状が出て、ご自身の判断で服用をやめたり、
飲む回数を減らしたりしないでください。
症状が気になる場合は、主治医と相談してください。

重大な出血時の主な症状

次のような症状のときは、医療スタッフに
連絡をしてください



けつべん
血便(血液の色や黒い色の便)・
けつによう
血尿



おしん は け
悪心(吐き気)・
おうと
嘔吐



このような症状が現れた場合は、脳や内臓など、
見えない部位で出血が起こっている可能性があります。
すぐに主治医に連絡してください。

出血時の対応と応急手当



出血が気になる場合は、すぐに主治医に連絡してください。

主治医から指示があるまでの**家庭でできる止血対策**

■ケガなどによる 出血のとき



10分間ほど
清潔なタオルでおさえる
(圧迫止血)

■鼻血のとき



5分間ほど
うつぶいて鼻を
つまむ



出血を避けるための日常生活のアドバイス

普段の生活の中で、次の点に注意してください。

- は やわ
歯ブラシは柔らかめのものを



- はな
鼻をかむときはやさしく



- さぎょう うんどう
ケガのおそれがある作業や運動は、なるべく避けましょう



かんきのうしょうがい おうだん
肝機能障害・黄疸

おうと
吐き気、嘔吐、
体がだるい、
皮膚や白目が
黄色くなる



尿が
濃くなる



次のような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 皮膚や白目が黄色くなる (おうだん 黄疸)
- かゆみ
- 発熱 など



きゅうせいじんしょうがい
急性腎障害

にょうりょうていか
尿量低下
(尿が出ない、
量が少ない)



ふしゅ
浮腫
(顔や手足が
むくむ)



次のような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 尿が出ない、量が少ない
- 顔や手足がむくむ (ふしゅ 浮腫)

特に注意してほしい副作用

かんしつせいはいしっかん 間質性肺疾患



階段をのぼったり
日常動作で息切れをする



咳が出る

次のような症状のときは、医療スタッフに連絡を

- 少しの運動で息切れをする
- 呼吸がしにくい、胸が苦しい
- 咳が出る など



日常生活のアドバイス

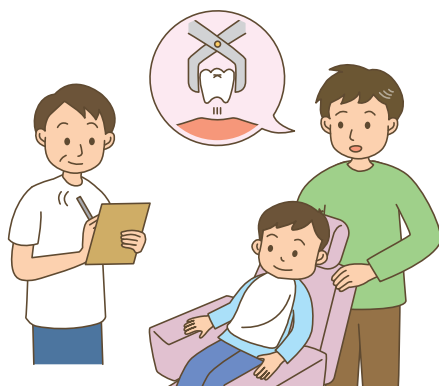
- 風邪と区別しにくいいため、風邪のような症状がでたら、ご自身で判断せず医療スタッフに相談しましょう。

服用中の注意点

他の診療科を受診するときは、リバーロキサバンを服用

- 他の病院や診療科、歯科を受診するときは、リバーロキサバンを服用していることを必ず医師、薬剤師に伝えてください

- 歯の治療(抜歯など)・手術・内視鏡検査などの際に血が止まりにくくなる場合があります。

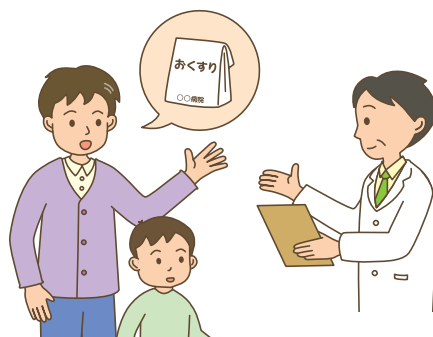


- お薬との飲み合わせによって、効果が強くなったり、逆に弱まったりすることがあります。



していることを必ず伝えてください

- 他の医療機関で他のお薬を処方された場合や、薬局などで他のお薬を購入するときは、医師、薬剤師に相談してください。



リバーロキサバン服用中は、定期的に主治医の診察や検査を受けましょう。

お薬カレンダー

服用したら記入しましょう

1日1回
食後に服用

記入例	日付	7/1	7/2	}
		☐	☐	

日付	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
日付	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
日付	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
日付	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

1日1回
食後に服用

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

1日1回
食後に服用

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

日付

/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○

患者さんカード

切り取って
お使いください



氏 名

服 用 開 始 日 年 月 日

保 護 者 の 氏 名 続 柄

保 護 者 の 連 絡 先

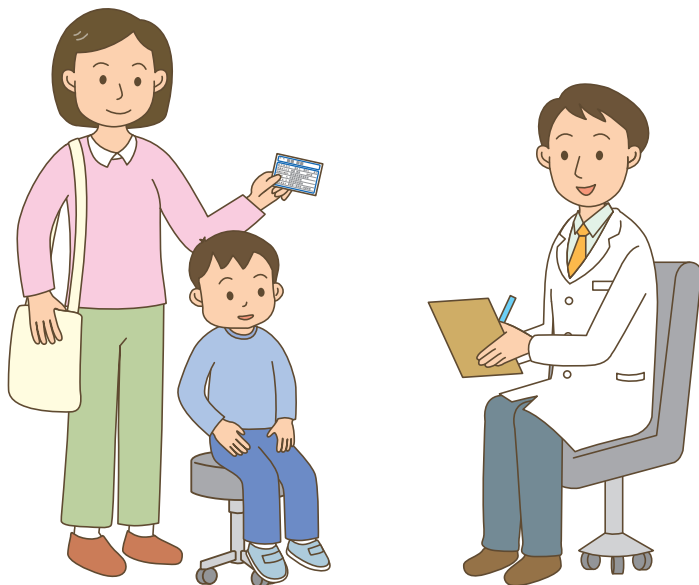
病 院 名

主 治 医 名

主治医連絡先

患者さんカードにご記入いただき、切り取ってお使いください。

他の病院、診療科、歯科で診察を受ける際に、医師・歯科医師・
薬剤師にご提示ください。



抗凝固薬 リバーロキサバン を服用しています

- 歯の治療や手術、内視鏡検査などの際に血が止まりにくくなる場合があります。
- 他の病院や診療科、歯科を受診するときは、このカードを提示してください。
- 新たにお薬を飲む場合は、医師、薬剤師に相談してください。



医療機関名

